

開業100年

2024年
7月27日 土

9月29日 日

開館時間 ● 午前9時から午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日 ● 毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）
観覧料 ● 一般310円（240円）

小・中学生150円（120円） ※（）内は20人以上の団体料金
東三河の小中学生は「ほの国こどもパスポート」の提示により無料

渥美線展

100年前、なぜ鉄道を
作ろうとしたのか？



田原市博物館

主催：田原市教育委員会、田原市博物館 協力：豊橋鉄道株式会社



道路上を走る渥美線 小池・師田口(現在の愛知大学前)間
1930(昭和5)年ごろ 元写真は豊橋アーカイブズ蔵



国による渥美線建設工事の遺構である石神町に残るコンクリート橋 現在

渥美線展

Astumi Line



高師駅に停車中の渥美線電車 1960(昭和35)年ごろ 元写真は豊橋鉄道蔵



急行マーク(列車種別標)
[個人蔵]



行き先方向板
[個人蔵]

関連イベント

◆渥美線沿線めぐり一乗って、歩いて、知る100年の歴史(要申込)

日時 | 9月22日(日・祝) 10:00~17:00頃
会場 | 渥美線沿線 新豊橋駅~三河田原駅
定員 | 20人

渥美線1日フリー乗車券を片手に、鉄道の乗り降りを繰り返しながら渥美線沿線の見どころを巡ります。
(渥美線1日フリー乗車券の購入が必要です。大人1,200円、小人600円)



申込みフォーム
募集は7月27日(土)から開始します

◆ギャラリートーク(要観覧料、申込不要)

当館学芸員による展示解説
日時 | 8月10日(土)、9月1日(日)
13:30~(一般向け)、15:00~(鉄道が好きな方向け)

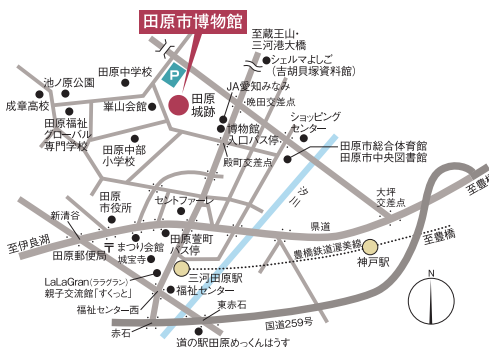
関連情報

◆豊橋市美術博物館 「豊橋鉄道100年 市電と渥美線」

会期 | 7月13日(土)~9月16日(月・祝)



開業当時の市内電車



- JR・名鉄「豊橋」駅から豊橋鉄道渥美線乗車「三河田原」駅下車、徒歩15分(田原城跡内)
- 豊鉄バス伊良湖本線・支線「田原萱町」下車、徒歩10分
- 田原市ぐるりんバス「博物館入口」下車、徒歩3分



ホームページ



インスタグラム

〒441-3421 愛知県田原市田原町巴江11-1
TEL 0531-22-1720
<https://www.taharamuseum.gr.jp>

田原市博物館

渥美線と渥美半島の100年を振り返る

豊橋鉄道渥美線は、新豊橋駅と三河田原駅を結ぶ18.0kmの単線電化の鉄道で、今年で開業100年を迎えました。

渥美線は、地元の人たちの願いや、当時田原や豊橋にあった軍事施設へのアクセス、それに電気の活用や観光需要の増進など、さまざまな期待のもと建設されました。

その後現在まで、移り変わっていく地域の需要に応えながら、電車は地域と共に走り続けました。この渥美線100年の歴史を、写真や貴重な資料から振り返ります。なつかしい鉄道風景をお楽しみください。

また、90年前に計画された半島の先端まで建設するはずだった「まぼろしの渥美線」の過去と現在も取り上げます。この展覧会によって、お客様に地域の鉄道の新たな一面を発見する機会にしていいただければ幸いです。



植田駅を発車する渥美線電車 1974(昭和49)年 元写真は豊橋鉄道蔵